

NEWS RELEASE
報道関係各位2016年11月9日
株式会社KADOKAWA
株式会社角川アスキー総合研究所

保護者の91%が「小学校での英語学習に賛成」 保護者の68%が 「小学校でのプログラミング学習に賛成」 『子どもライフスタイル調査 2016 秋』結果のお知らせ

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原真樹）アスキー・メディアワークスは、株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：角川歴彦）と共同で『子どもライフスタイル調査 2016 秋』を実施いたしましたので、調査結果をお知らせいたします。

今回の調査結果は、アスキー・メディアワークスの女の子向けゲーム＆キャラクター情報誌「キャラぱふえ」の読者を対象に実施し、回答者から読者の中心層である女子小学生を抽出して、集計分析したものです。

調査結果のポイント

- 64%が「英語を学習している」と回答。(P.2)
- 66%が「プログラミングという言葉も知らない」と回答(P.2)
- 女子小学生の保護者の68%が、「小学校でのプログラミング教育に賛成」と回答。(P.3)
- 女子小学生の保護者の91%が、「小学校での英語教育に賛成」と回答。(P.3)
- 女子小学生の保護者の54%が、「早期に英語教育を始めた方が身につけやすいと思う」と回答。(P.3)
- 「プログラミングの知識で世界が広がる」と40%が回答。(「小学校でのプログラミング教育に賛成」と回答の保護者)(P.4)

◇調査概要◇

- | | |
|--|---|
| (1) 調査期間：
2016年8月1日～2016年9月20日 | (4) 集計サンプル数：合計 292 件
女子 小1～3年生 204 件
女子 小4～6年生 88 件 |
| (2) 調査方法：雑誌添付ハガキによるアンケート | |
| (3) 調査対象：女子小学生
雑誌「キャラぱふえ」の読者を対象に調査を実施し、
回答者から女子小学生のみを抽出して集計した。 | |

※なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス

<http://asciimw.jp/>

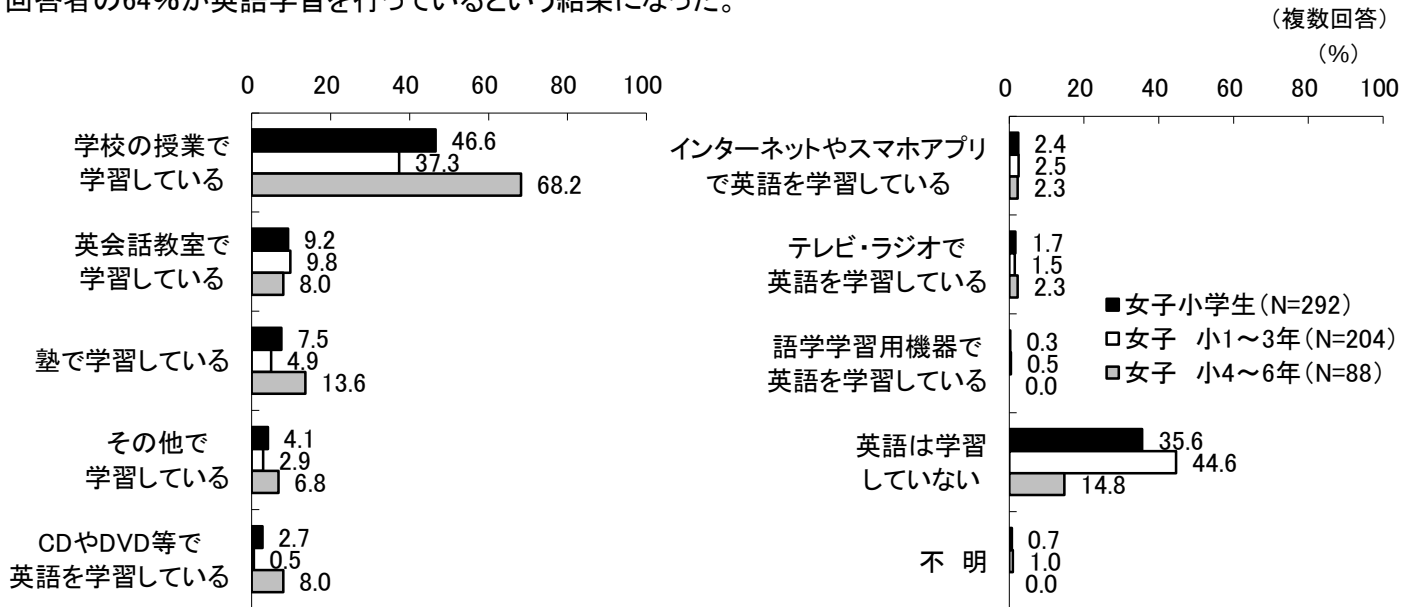
『子どもライフスタイル調査 2016 秋』

(1) 英語学習について

○現在の英語学習

64%が「英語を学習している」と回答

現在の英語学習について尋ねたところ、「学校の授業で学習している」との回答が47%、小4～6年生では、68%を占める。また、小4～6年生の14%が「塾で学習している」と回答。「英語は学習していない」との回答が36%で、回答者の64%が英語学習を行っているという結果になった。

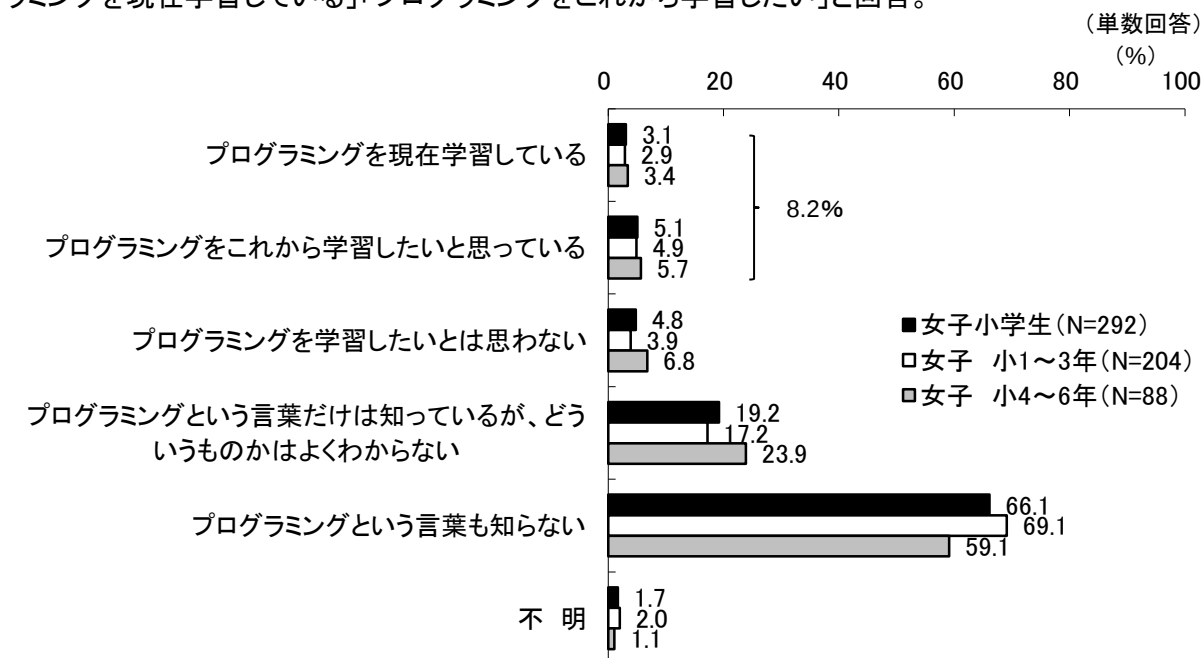


(2) プログラミング学習について

○プログラミングの学習

66%が「プログラミングという言葉も知らない」と回答

プログラミングについて尋ねたところ、66%が「プログラミングという言葉も知らない」と回答。一方、8%が「プログラミングを現在学習している」「プログラミングをこれから学習したい」と回答。



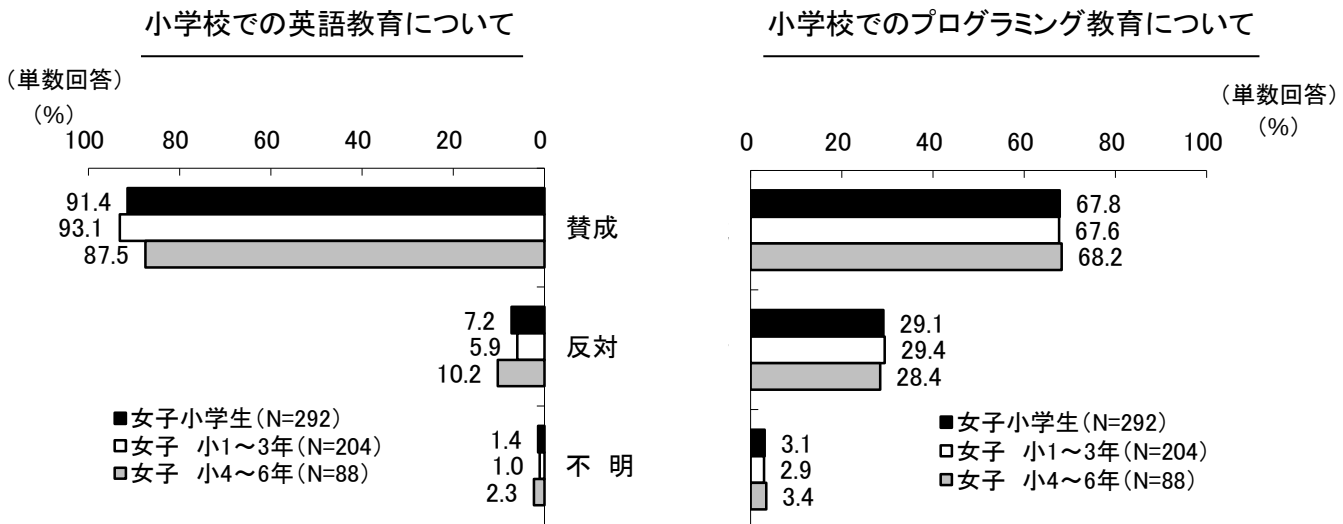
■保護者向けの設問

(3)小学校での英語教育とプログラミング教育について(保護者全体)

○小学校での英語教育とプログラミング教育

女子小学生の保護者の68%が、「小学校でのプログラミング教育に賛成」と回答

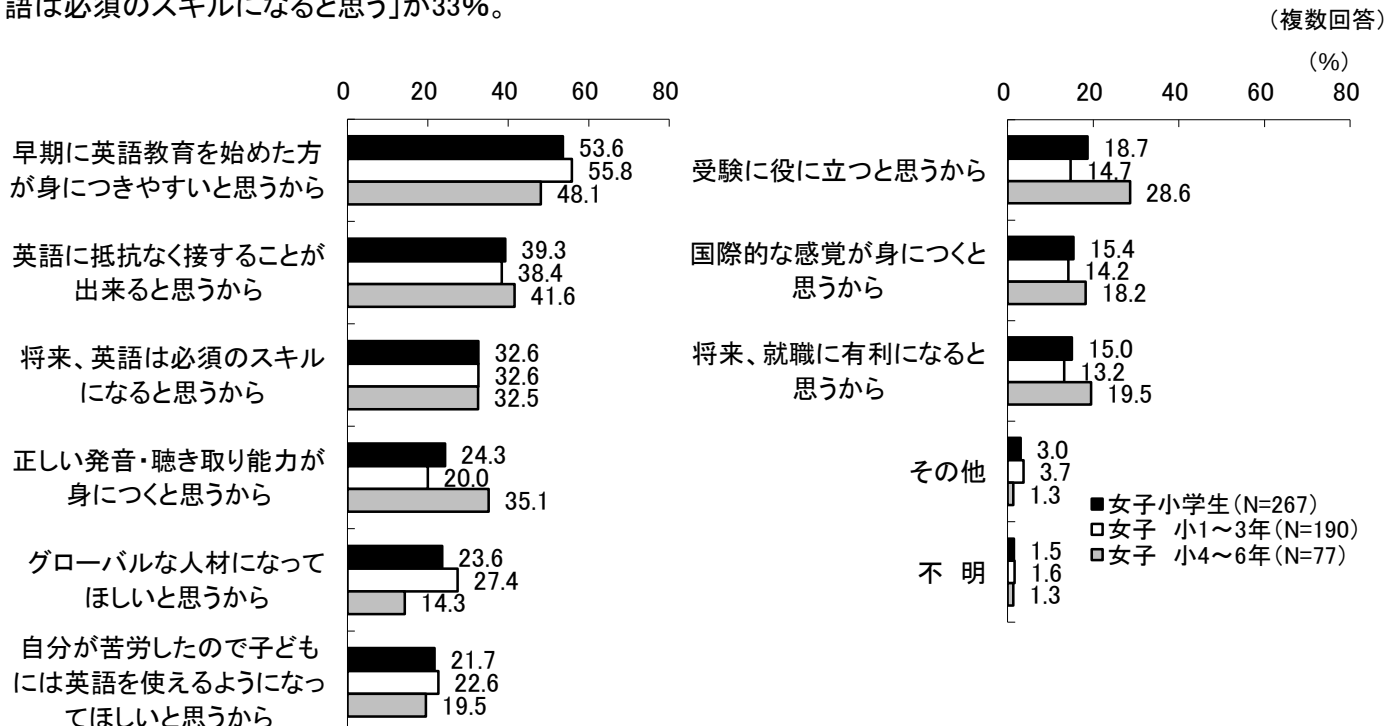
女子小学生の保護者に小学校での英語教育とプログラミング教育について尋ねたところ、91%が「英語教育に賛成」と回答。また、68%が「プログラミング教育に賛成」と回答しており、保護者は、小学校でのプログラミング教育に前向きな姿勢が伺われる。一方、「プログラミング教育に反対」は29%。



○小学校での英語教育に賛成の理由 (「小学校での英語教育に賛成」保護者)

保護者の54%が、「早期に英語教育を始めた方が身につけやすいと思う」と回答

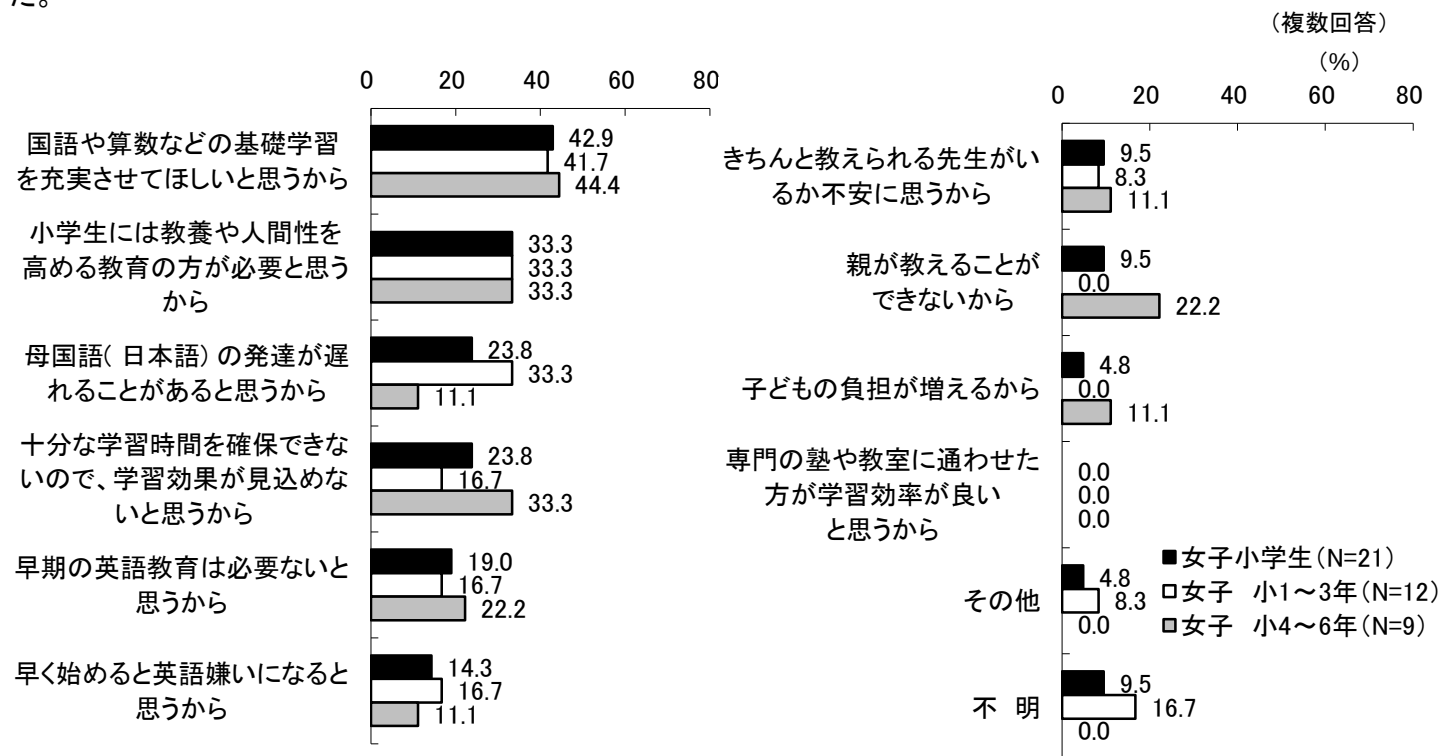
小学校での英語教育に賛成と回答の女子小学生の保護者に理由を尋ねたところ、54%が「早期に英語教育を始めた方が身につけやすいと思う」と回答。次いで「英語に抵抗なく接することができると思う」が39%、「将来、英語は必須のスキルになると思う」が33%。



○小学校での英語教育に反対の理由（「小学校での英語教育に反対」保護者）

「国語や算数などの基礎学習を充実させてほしいと思う」が43%

小学校での英語教育に反対との回答は、女子小学生の保護者全体で7%と高くはないものの、反対との回答者にその理由を尋ねたところ、「国語や算数の基礎学習を充実させてほしいと思う」が43%、「教養や人間性を高める教育の方が必要と思う」が33%をそれぞれ占めており、英語以外を優先して欲しいというのが主な理由のようだ。

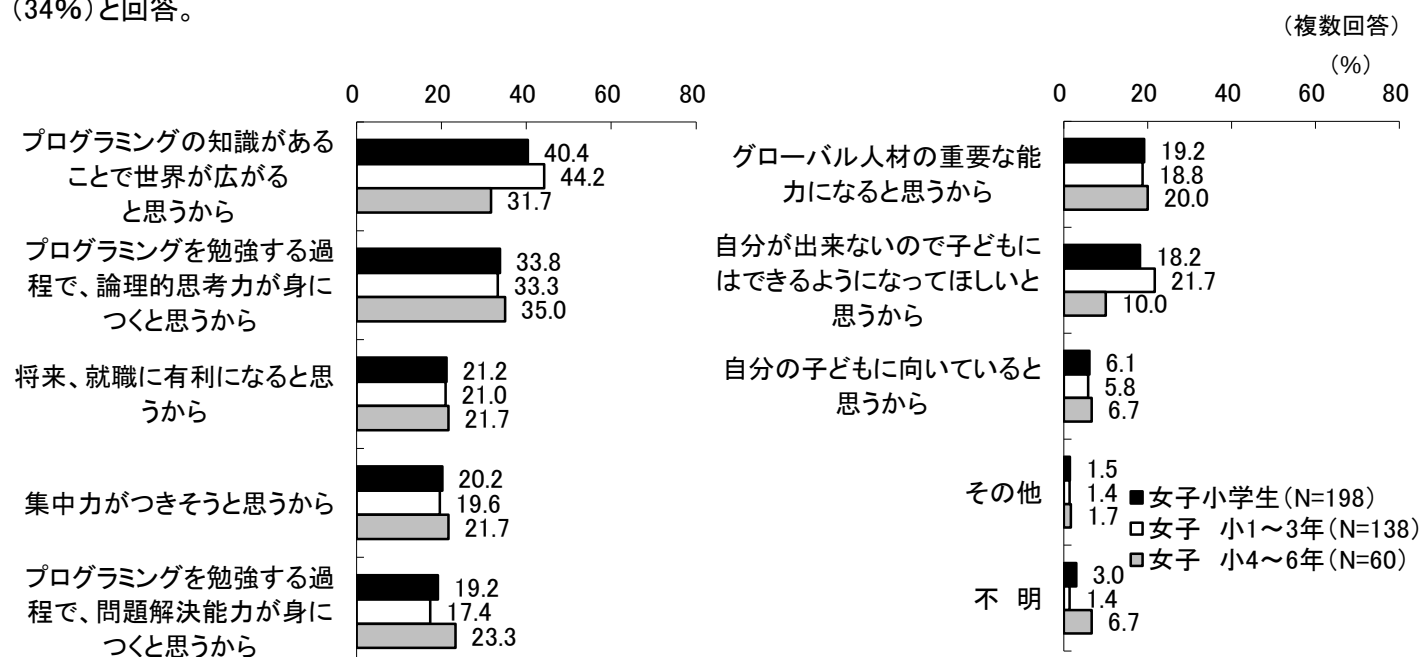


○小学校でのプログラミング教育に賛成の理由

（「小学校でのプログラミング教育に賛成」保護者）

「プログラミングの知識で世界が広がる」と40%が回答

小学校でのプログラミング教育に賛成と回答の女子小学生の保護者に理由を尋ねたところ、40%が「プログラミングの知識で世界が広がる」と回答。次いで「プログラミングを勉強する過程で論理的思考が身につくと思う」（34%）と回答。

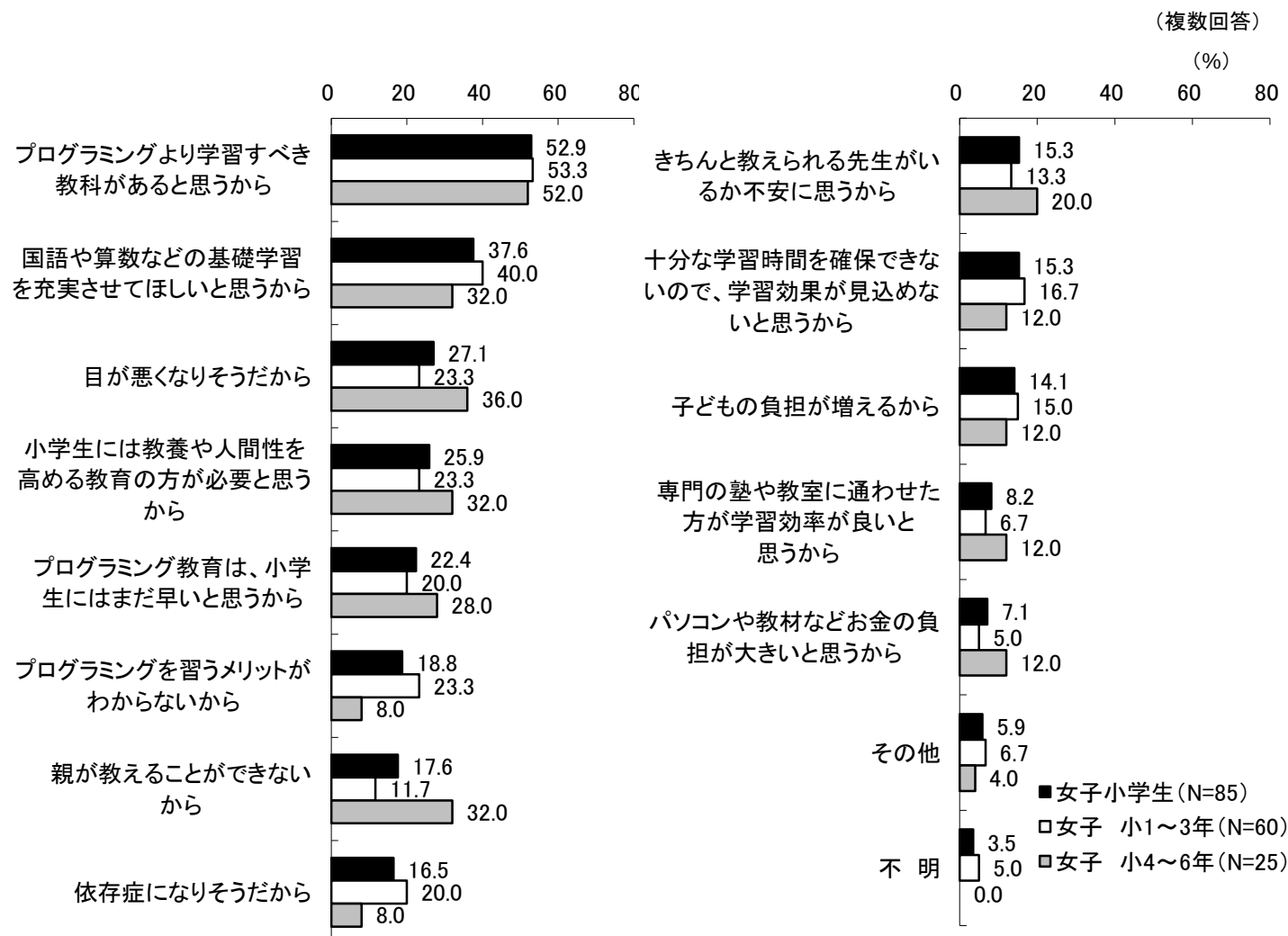


○小学校でのプログラミング教育に反対の理由（保護者全体）

（「小学校でのプログラミング教育に反対」保護者）

「プログラミングより学習すべき教科があると思うから」と53%が回答

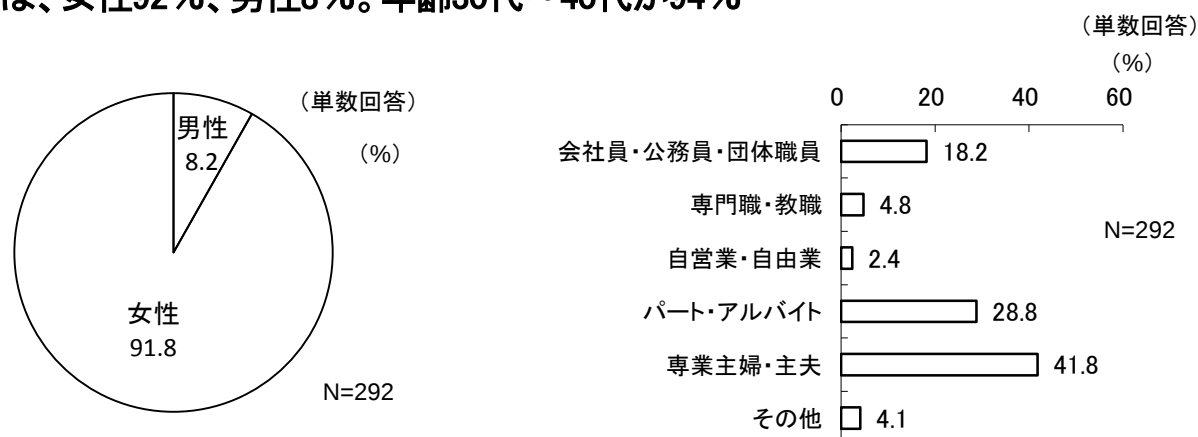
小学校でのプログラミング教育に反対と回答の女子小学生の保護者に理由を尋ねたところ、53%が「プログラミングより学習すべき教科があると思うから」と回答。次いで、「国語や算数などの基礎学習を充実させてほしいと思うから」が38%を占める。

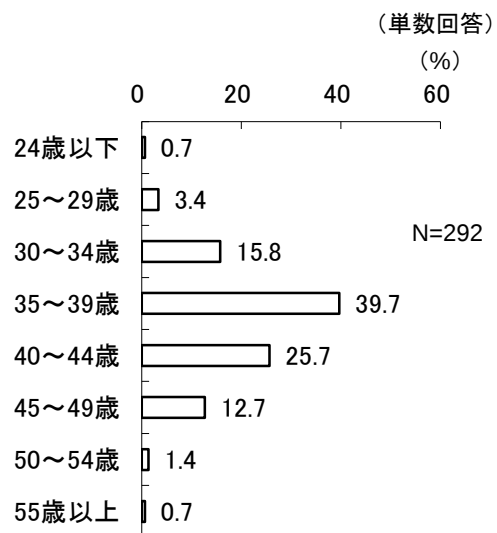


（4）保護者のプロフィール（回答者全体）

○保護者のプロフィール

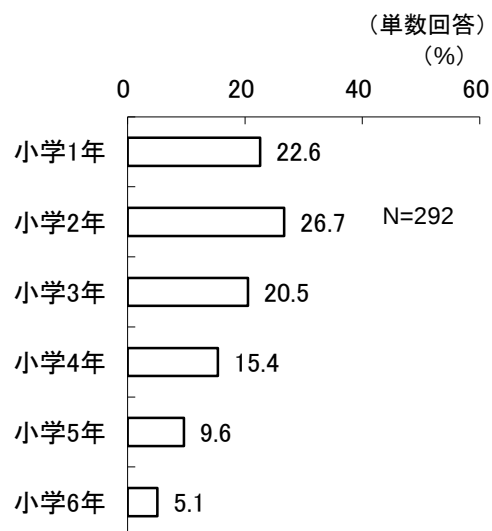
性別は、女性92%、男性8%。年齢30代～40代が94%





(5) 女子小学生のプロフィール

○学年



【調査対象の雑誌媒体について】

今回の調査は、以下の1誌の読者を対象に行ったものです。



雑誌名	: 「キャラぱふえ」
内容	: 小学生の女の子に人気のゲームやキャラクターのコミックなどを多数掲載。文具セットやポーチなど、クオリティの高い付録がついています。
発行形態	: 雑誌／偶数月1日発売
発行部数	: 180,000部
特別価格	: 800円（税込）
判型	: AB判
発行	: 株式会社KADOKAWA
プロデュース	: アスキー・メディアワークス
男女比	: 男1、女99
平均年齢	: 8.7歳
公式サイト	: http://cp.dengeki.com/

<ご参考>

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビー、テクノロジーなど、エンターテインメントやPC/IT分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWA公式サイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciimw.jp/>

■株式会社角川アスキー総合研究所とは

KADOKAWAの法人向けの調査・コンサルティング事業や、出版事業、教育支援事業などを展開するシンクタンク会社。テクノロジー分野のイノベーターとして活躍している方々を主席研究員として招聘し、その方々の知見とKADOKAWAの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力、技術力とを総合的に発揮することで、日本のメディア・コンテンツ産業全体の発展に貢献することを目指しています。

●角川アスキー総合研究所URL: <http://www.lab-kadokawa.com/>

株式会社角川アスキー総合研究所

以上